

## 平成29年度業績ハイライト

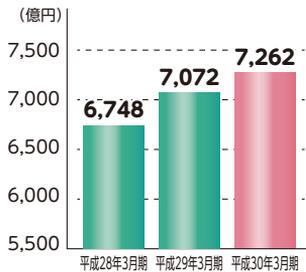
## 預金積金残高

7,262億円

定期預金キャンペーンを夏冬2回実施したほか、口座開設アプリやインターネット専用定期預金の取扱いを開始するなど、サービスを拡充いたしました。

その結果、預金積金残高は個人のお客さまを中心に前期比190億17百万円増加いたしました。

[預金積金残高の推移]



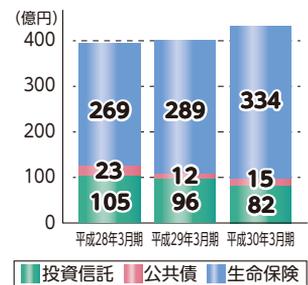
## 預かり資産等残高

432億円

「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）に関する基本方針」に基づき、お客さまのニーズに沿った商品のご提案と情報提供に努めてまいりました。

その結果、投資信託・公共債・生命保険の合計残高は432億14百万円となりました。

[預かり資産等残高の推移]



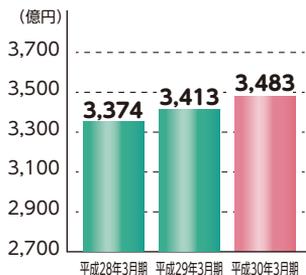
## 貸出金残高

3,483億円

事業者のお客さまとの深度ある対話を基に、資金ニーズに積極的にお応えしたほか、個人のお客さまには、来店不要のWEB完結型のローン商品を充実するなど、商品性の向上に取り組んでまいりました。

その結果、貸出金残高は前期比69億64百万円増加いたしました。

[貸出金残高の推移]



## 自己資本比率(単体ベース)

17.36%

自己資本比率は17.36%と、リスクアセットの増加により前期比0.87ポイント低下いたしました。引続き国内基準(4%)を大きく上回る健全性を維持しております。

[自己資本額/自己資本比率の推移]

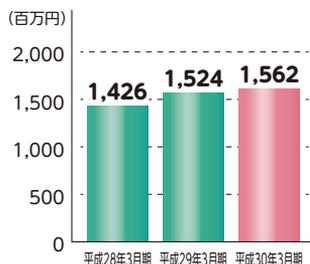


## 当期純利益

15億円

マイナス金利政策の影響もあり、経常収益は減少いたしました。コスト削減に努めたことで、当期純利益は前期比38百万円の増益となりました。

[当期純利益の推移]



## 不良債権の状況(金融再生法ベース)

金融再生法上の不良債権残高は148億円となり、不良債権比率は4.23%となりました。

この内、担保・保証および貸倒引当金で140億円、94.80%がカバーされ、残りの未保全額も潤沢な自己資本616億円によりカバーされております。

